

公益社団法人日本老年精神医学会 第36回総会議事録

日 時：2020年8月22日（土）14：30～15：00

場 所：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター（カンファレンスルーム 11D, 11 階）

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル 11F

社員総数：2787名

出席社員数：1429名（うち委任状出席 1424名）

総会議長：池田 学

上記のとおり法定数（定款第16条）以上の正会員（社員）が出席し本会は適法に成立した。よって、定款の規定により理事長 池田学が議長となり、議長席に着き開会を宣し、理事長が挨拶を行った後、議事に入った。

議 事：審議・報告事項

1. 審議事項

1) 2019年度決算（案）報告および監査報告

2019年度決算（2019年4月1日～2020年3月31日）について、資料1のとおり説明があった。また、説明後、本決算書が適正かつ正確であるとの監査報告があり、これを承認した。

①収入の部においては、事業活動収入として会費収入 29,553,000 円、専門医制度委員会事業収入より専門医申請料・更新料・認定料 3,860,000 円、生涯教育講座等参加費 1,424,013 円、心理士認定委員会事業収入より 2,302,000 円、大会事業収入より 30,359,960 円等を合わせ、収入会計が 68,554,935 円であった。

②支出の部においては、事業費支出として機関誌刊行費 8,900,000 円、ホームページ維持・管理費 656,000 円、学会事務委託費 3,465,480 円、専門医制度委員会事業支出として、認定部会運営費 478,812 円、生涯教育講座等運営費 2,229,021 円、心理士認定委員会事業支出として 2,213,916 円、大会事業支出 25,146,967 円、特別奨励賞事業支出 612,223 円等を含め支出合計が 64,399,771 円であり、次期繰越金を 33,945,890 円とした。

2) 2020年度理事・監事の選任について

新理事として朝田隆、新井哲明、栗田圭一、池田学、内海久美子、浦上克哉、数井裕光、加藤伸司、川勝忍、岸本年史、北村立、工藤喬、繁田雅弘、中村祐、布村明彦、橋本衛、馬場元、堀口淳、三品雅洋、三村將の 20 名、新監事として品川俊一郎、涌谷陽介の 2 名が選出されたことが報告され、候補者ごとにこれを承認した。任期は 2020 年 8 月 22 日から 2022 年度定時社員総会までとする。

3) 新評議員について

理事会・評議員会より新評議員候補 16 名が推薦され、新評議員として三島和夫、中嶋信人、今井公文、東晋二、下田健吾、稲村圭亮、河上緒、古田光、藤城弘樹、平田和美、鶴飼克行、嶽北佳輝、中西亜紀、吉村匡史、中澤宏之、城間清剛の 16 名全員を候補者ごとに承認した。

4) 名誉会員、特別会員の推薦について

理事会・評議員会より定款第 2 章第 5 条に則り、武田雅俊氏が名誉会員に、また奥田正英氏、中村純氏が特別会員に推薦され、これを承認した。

5) 学会認定医について

受験資格、今後のスケジュール、および認定医制度規則案が提案され、種々検討の結果、これを承認した。

2. 報告事項

1) 2019年度事業報告

2019年度事業報告が報告された。

2) 2020年度予算について

2020年度予算について、資料8のとおり説明があり、これを承認した。

2020 年度予算として、①収入の部においては、事業活動収入として 34,770,000 円、専門医制度委員会事業収入として 3,755,000 円、心理士認定委員会事業収入として 1,750,000 円、大会事業収入として 28,590,000 円、および前年度繰越金 33,945,890 円等を合わせ、収入合計を 102,810,890 円とした。②支出の部においては、事業費支出として機関誌刊行費 9,000,000 円、HP 維持・管理費 660,000 円、学会事務委託費 3,700,000 円、専門医制度委員会事業支出として認定部会運営費 830,000 円、試験実施委員会運営費 1,030,000 円、生涯教育講座運営費 3,750,000 円、心理士認定委員会事業として 4,350,000 円、大会事業支出として 26,990,000 円および特別奨励賞事業支出 865,000 円等を含め、支出合計を 102,810,890 円とし、次年度繰越金を 22,173,890 円とした。

2) 2020 年度事業計画

2020 年度における事業計画が報告された。

3) 2020 年度専門心理士および上級専門心理士の認定について

専門心理士 26 名、および上級専門心理士 11 名について理事会で審議され、種々検討の結果、37 名全員を認定することが報告された。

4) 新入会について

116 名の新入会希望者について理事会で審議され、種々検討の結果、116 名全員の入会を認めたことが報告された。

5) 専門医制度委員会報告

2020 年 3 月 29 日に予定していた 2020 年度専門医認定試験は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して、2020 年 12 月 6 日に延期したことが報告された。また、2021 年度専門医認定試験は、2021 年 3 月 28 日（日）に損保会館において実施する予定であることが報告された。2020 年 3 月 31 日をもって更新となった専門医 314 名中、255 名（内指導医 217 名）が更新を完了したことにより、専門医数 1,006 名、指導医数 756 名、認定施設 350 施設となったことが報告された。なお、更新単位数が不足している 51 名に対しては、1 年間の単位取得延長期間を認めることとした。

6) 機関誌「PSYCHOGERIATRICS」編集委員会報告

現在の投稿状況および採択率が報告された。また 2019 年 Impact Factor は 1.750 であることが報告された。1 年間で査読数の多かった北村立氏と安野史彦氏に査読賞を授与することが報告された。

7) 準機関誌「老年精神医学雑誌」編集委員会報告

現在の投稿状況および受理数が報告された。また刊行計画（特集テーマ）等についても報告された。

8) 広報委員会報告

ホームページ掲載内容について報告された。また 2020 年 4 月 17 日に予定していたプレスセミナーは、新型コロナウイルスの感染を考慮して延期したことが報告された。

9) 心理士認定委員会報告

2021 年度専門心理士認定試験については 2020 年冬に申請受付をおこない、第 4 回過渡的措置として書類審査のみとすることが報告された。

10) 専門医制度委員会生涯教育講座部会について

2020 年度に開催する生涯教育講座は、本学会主催の講座をオンライン配信と第 35 回大会開催時に米子において、また認知症疾患医療センター共催の講座を 9 箇所において開催する予定であることが報告された。

11) 第 35 回日本老年精神医学会開催について

2020 年 6 月 13 日（土）～14 日（日）に米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）において予定していた第 35 回日本老年精神医学会は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して、2020 年 12 月 20 日（日）～22 日（火）に延期したことが報告され、8 月下旬をめどに Web 配信も含めた開催方法を決定することが報告された。

12) 第 36 回日本老年精神医学会開催について

新井平伊 IPA 大会長、および数井裕光第 36 回大会長のもと、2021 年 9 月 16 日（木）～18 日（土）に国立京都国際会館（京都府）において、テーマを「Smart Aging with MATES (Medicine, Arts, Technology, Engineering and Science)」として IPA との合同開催を予定していることが報告された。

13) 第 37 回日本老年精神医学会開催について

三村將第 37 回大会長のもと、2022 年 11 月 24～26 日または 25 日～27 日に東京国際フォーラム（東京都）において、日本認知症学会との合同開催を予定していることが報告された。

14) 第 38 回日本老年精神医学会開催について

布村明彦氏が第 38 回大会長として、第 76 回理事会において承認され、2022 年 6 月に第 33 回日本老年学会、および IAGG2023 と合同開催を予定していることが報告された。